

Imaging Conference JAPAN 2010

= ワークショップ企画募集 =

日本画像学会年次大会(通算第 105 回) “Imaging Conference JAPAN 2010” では、新しい試みとして、ワークショップを開催いたします。

ワークショップとは、企画者によるテーマ設定の下、選出された発表者と、テーマに関心を持つ参加者による討論または実践的作業を通じて、課題解決に向けた成果を創出するためのセッションをさします。発表者と参加者の緊密な討論と意見交換を通じて、イメージング技術の現状認識が再構築され、将来に向けた提言が生み出されることを期待いたします。

1. 開催概要

日時

2010 年 6 月 10 日(木), 11 日(金)

会場

きゅりあん 品川区立総合区民会館 6F 中会議室
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1
(JR/東急線 大井町駅前)

討論形式

発表者と参加者による全体討議またはグループ討議
1 テーマにつき定員を 20 名程度に設定します。

議事進行の一例として以下に示します。テーマの趣旨によっては、必ずしもこの例に沿う必要はありません。

- ・企画者によるテーマ説明
 - ・司会者(ファシリテータ)による議事進行
 - ・テーマに沿った数名の発表者によるスピーチ
 - ・参加者と発表者によるディスカッション
 - ・司会者(ファシリテータ)による討論のまとめ
- 1 つの企画について最大 2 時間が割り当てられます。

応募資格

企画者および司会者(ファシリテータ)は正会員または学生会員であること。但し、発表者については非会員も認められます。

2. 企画テーマ募集分野

ICJ2010 のキーコンセプト、“未来を創る、イメージング技術の新世代へ”を反映し、社会の急速な変化の中で今後更に技術的価値が高まると期待される以下の分野を特に募集いたします。

- ・デジタルファブリケーション等、新規応用分野における実用課題、技術の方向性について
- ・電子文書とハードコピーの役割、課題と将来など
- ・画像認識、画像感性とイメージング技術との関わり、応用展開など
- ・環境、省エネルギー観点から見たイメージング技術の役割、将来性

上記以外の分野であっても、キーコンセプトを反映するテーマ企画であれば、応募を歓迎いたします。その他の対象分野は、ICJ2010 研究発表募集分野に準じます。

複数の分野にまたがるテーマや、他分野との境界領域を扱ったテーマ設定も可能です。



3. 企画書応募要領

発表者やファシリテータの選出は、企画者が行うことを原則としますが、学会有識者による紹介や支援を必要とする場合は、その旨申し出てください。

題目を「ICJ2010 ワークショップ応募」とし、下記必要事項をご記入の上、電子メールにてお申し込み下さい。受付確認メールおよび「予稿作成要領」が返信されますが、採用通知ではございません。応募された企画の採否は別途ご連絡いたします。

テーマ応募時必要事項

1. ワークショップ題目(和文&英文)
2. 企画テーマ分野
3. 討論形式(全体討議、グループ討議)
4. 企画者氏名、所属(和文&英文)、会員番号、連絡先の住所、電話番号、FAX、e-mail
5. 司会者(ファシリテータ)氏名、所属(和文&英文)、会員番号
6. 発表者氏名、所属(和文&英文)、会員、非会員の別
7. 機器の使用希望の有無
8. 企画に必要な経費の見込み
9. 企画の要旨(A4 用紙 1 枚程度)

ワークショップ企画書は以下の点に留意して書いてください。題目は内容を明快に反映するものとしできるだけ簡潔にしてください。要旨の内容には、現状認識、問題の

所在、解決の手法、論点、想定する参加者層（技術分野、職歴、年代等）などを盛り込み、必要に応じて具体的な実例や資料も示してください。

学会の ICJ2010 ウェブページに応募用フォーム(MS WORD)を掲載しておりますのでご利用下さい。

企画書応募先

event@isj-imaging.org

企画書応募締め切り

2010年3月5日(金)

4. 企画の採否と公示

企画の採否は、企画の有用性、実現性、学会主催ワークショップとしての公共性（特定企業の営利目的でない）、イベント趣旨との合致性等を審査の上、3月上旬、ICJ2010 実行委員会で決定されます。ワークショップ企画採択者には本学会事務局からワークショップの日時を予め通知いたします。司会者、発表者の日程確保は企画者が行ってください。

採用されたワークショップの企画は、ICJ2010 プログラムおよびICJ2010 ウェブページに掲載いたします。ウェブページの掲載を通じて、ワークショップでの発表を希望する方を更に募集することも可能です。

企画に必要な経費は、本学会が負担いたします。

5. 予稿原稿について

予稿原稿は、企画書の内容に、各発表者の発表要旨を加え、2 ページまでとします。当日用の配布資料は別途作成し、参加者に配布することも可能です。

予稿原稿作成支援のためのテンプレート(MS-WORD)を準備しておりますので、ご利用下さい。

予稿集は、発表者から提出された原稿の PDF ファイルを元に、モノクロにてオフセット印刷により作成しますが、CD-ROM 版予稿集にはカラー原稿のまま収録することができます。PDF 以外の電子データ（動画など）を資料として収録を希望する場合は、事前にワークショップ担当までお問い合わせください。

PDF 化の要領につきましては、予稿作成要領をご参照ください。原稿の品質確保のため、Press Quality を推奨し、Smallest File Size は不可とします。文字化けやレイアウトのズレなどの事故に対処するため、**原稿の WORD ファイルと PDF ファイルを格納した CD-R、およびモノクロ原稿 1 部**を学会事務局へ期日までにご送付願います。

予稿集用原稿締め切り

2010年4月14日(水) 必着

6. 参加要領

ワークショップへの参加は、正会員、維持会員または学生会員であることとします。参加申込はワークショップ 1 件ごとに事前申込制といたします。申込多数の場合は、抽選の上、結果を通知いたします。事前申込が定員に達しない場合に限り、当日の参加申込を受け付けます。

7. 実施報告について

企画者は、ワークショップ実施後、ワークショップの実施報告を行います。報告内容は、テーマの趣旨、参加人数、討論のまとめ、討論の成果に対する所感などを含みます。

実施報告は、

1. ワークショップ当日のプログラムの最後に口頭で行い、
2. 後日書面にて提出してください。

8. お問い合わせ

ICJ2010 に関する最新情報を、学会ホームページに掲載いたしておりますのでご覧下さい。

日本画像学会ホームページ

<http://www.isj-imaging.org/isj.html>

ICJ2010 ウェブページ

http://www.isj-imaging.org/event/conference/ICJ2010/ICJ2010_info.html

事務局

〒164-8678

東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内

日本画像学会 ICJ2010 係

Tel: 03-3373-9576 Fax:03-3372-4414

e-mail でのお問い合わせ

ワークショップについて

yoshihiro.hatsutori@konicaminolta.jp

ICJ2010 について

event@isj-imaging.org

画像学会について

info@isj-imaging.org

